

令和8年度 有機農業推進に係る 農機具シェアリングの 実証報告

令和8年10月13日

近江八幡市総合政策部企画課



事業の目的と概要

有機農業の推進に向けた 農機具シェアリング

作業の効率化、作業規模の拡大を促進し、
農業の継続性を高めることで、有機農業
を推進します

対 象

市内で有機農業に取り組んでいる方、
または取り組もうとする方





貸出した農機具の仕様

ポット成苗田植機

みのる産業株式会社製 RXE61 6条植え

乗用型水田用除草機

株式会社オーレック製 SJ600A (WEED MAN) 6条用 条間30cm



利用状況と効果

※アンケート結果より

利用者数

5 名

- 田植機 1名
- 除草機 4名

利用面積合計

11.2 ha

- 田植機 229a
- 除草機 892.3a

※除草機利用者 作業時間削減率

50 %以上

- 除草機利用者全員が作業時間の50%以上削減を実感



主な効果

作業時間の大幅な短縮と労働力の軽減を実現
新規の有機農業者が取り組みやすい環境整備を推進

利用者の感想と課題

利用者の感想

乗用型のため大幅に労力と時間の削減につながった
株間の雑草の除去が可能になった
新規就農者がチャレンジする敷居が下がると感じる

利用上の課題

株間の除草などほ場によって効果の感じ方に差異があった
使用時期が重複するため日程調整が難しい
浅水管理や藻対策など事前の情報共有不足であった
栽培全体への影響や留意点を学ぶ必要がある



今後の課題と展望

- 利用者間で情報共有し栽培技術向上を図る
 - 日程調整も含めた効果的な運用方法を検討する
- 